

令和6 - 10年度（債務負担）

## 上高地新村橋上部工工事

積算参考資料

令和6年7月作成

松本市 アルプスリゾート整備本部

# 上高地新村橋上部工工事 設計説明

## 1 積算条件

工 事 名 令和6年度上高地新村橋上部工工事  
 工 期 令和6年12月契約日～令和10年12月28日まで  
 施 工 区 分 山間僻地  
 時間的制約 工場製作工、工場製品輸送工：無し  
 その他工種：有り（原則各工種のレベル2で設定）  
 不稼働係数 1.7  
 冬 期 補 正 0.06（以下のとおり想定）

年度	始期	終期	総日数	冬期日数	冬期現場作業日数	備考
令和6年度	12月19日	3月31日	103	103	0	
令和7年度	4月1日	3月31日	365	121	0	
令和8年度	4月1日	3月31日	365	121	30	12/1～12/15 及び12/16以降週1回 (現場保安)
令和9年度	4月1日	3月31日	366	122	30	12/1～12/15 及び12/16以降週1回 (現場保安)
令和10年度	4月1日	12月28日	365	28	28	現場後片付け

1,564

88

冬期補正率

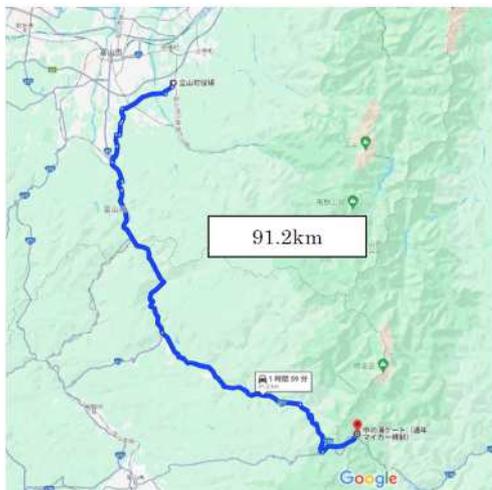
0.06

## 2 輸送・運搬

工場製品輸送

富山県立山町役場 ～ 架橋位置 104.3km

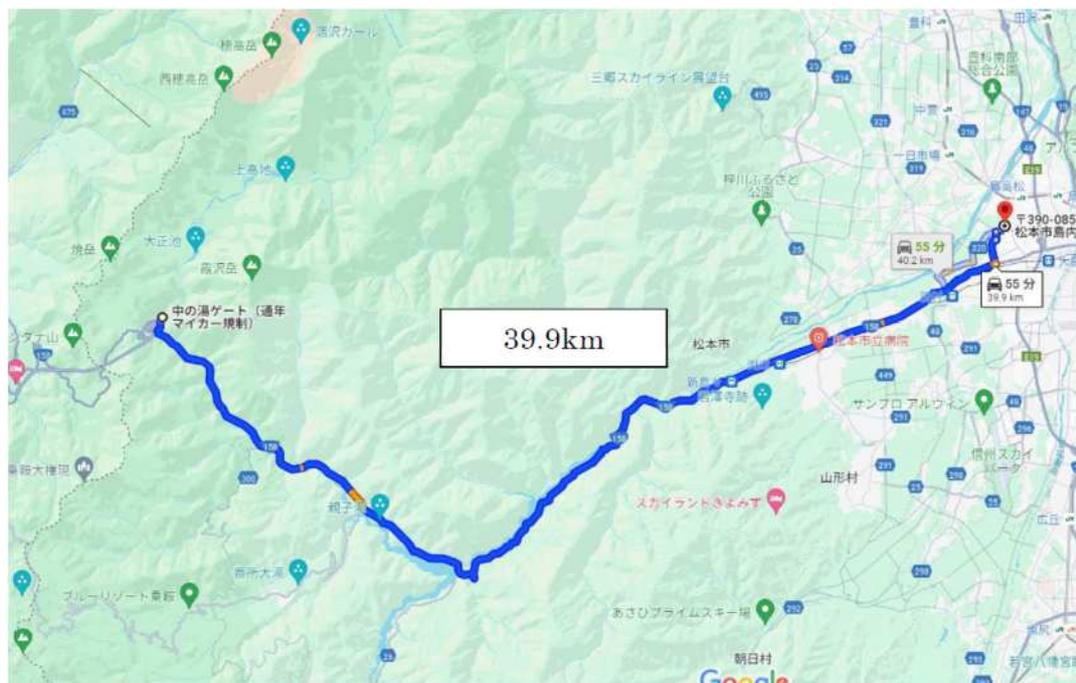
(立山町～中の湯ゲート 91.2km、中ノ湯ゲートから架橋位置 13.1km)



なお、釜トンネルから先 13.1 kmのうち、約 10km が未舗装路であることを考慮し、鋼橋工場製作輸送費は見積単価を採用している。

産業廃棄物運搬・処分

清水口建設（株）53.0km（39.9km + 13.1km）



土砂運搬

橋梁取付道路に必要な盛土材（河床堆積土）の運搬費（1km）を計上している。

現場発生品運搬

コンクリートアンカー施工に伴い発生する伐採木の運搬費（2 km）を計上している。

### 3 仮設関係

交通誘導警備員

資機材搬入と公園事業者や公園利用者との錯綜を避けるために、以下の期間を想定して、交通誘導警備員の配置（635人日）を計上している。

- ・令和 8年 10月 1日 ~ 11月 3日 33日間×2名 = 66名
- ・令和 9年 4月 17日 ~ 11月 3日 201日間×2名 = 402名
- ・令和10年 4月 17日 ~ 9月 30日 167日間×1名 = 167名

現場内除雪

冬期における現場保安及び開山期に速やかに現地作業に着手するために、以下のとおり、現場内除雪を概算数量（320時間）にて計上している。

- ・令和8年 12月~4月 5ヵ月×4回/月×8時間 = 160時間
- ・令和9年 12月~4月 5ヵ月×4回/月×8時間 = 160時間

### 資材運搬路関係

ア 大型車の通行ルートとして想定している中ノ湯ゲート～新村橋までのうち、未舗装区間（延長約 8.6km、W=4m、計 34,400 m<sup>2</sup>）については不陸が生じており、架設機材、鋼部材の運搬に支障があることから、以下の時期に不陸整正を行うことを想定し、概算数量（103,200 m<sup>2</sup>）を計上している。

(ア) 架設機材、鋼部材運搬前

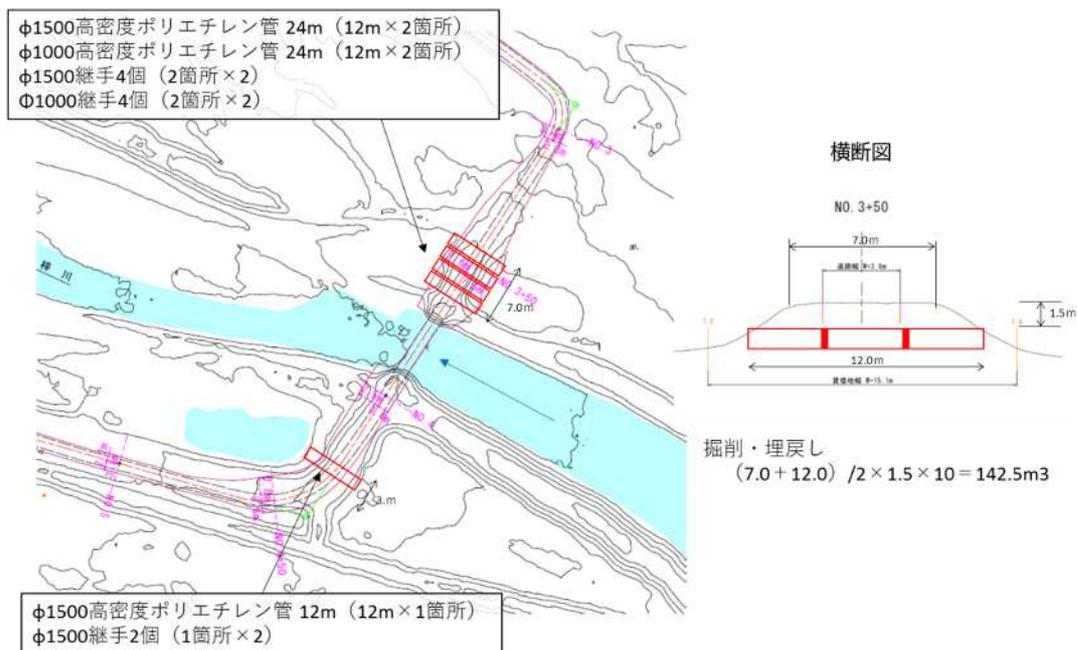
(イ) 床版コンクリート打設、橋梁付属物運搬前

(ウ) 工事完了後

イ 架設機材の左岸側への運搬は、徳沢仮橋を利用することを想定しているが、徳沢仮橋取付部の高密度ポリエチレン管の破損・閉塞により、渡河できなくなる恐れがあることから、以下のとおり同箇所の管路材の入替えを想定し、概算数量を計上している。

#### 【使用材料】

- ・高密度ポリエチレン管 1500 ダブル管 12m × 3箇所 = 36m
- ・高密度ポリエチレン管 1000 ダブル管 12m × 2箇所 = 24m
- ・高密度ポリエチレン管継手（1500、1000）



ウ 治山運搬路に設置されている橋梁（林野庁所管）については、別途発注している新村橋橋台（A1）設置工事により、補強工事を実施済みである。本工事での補強は予定していないが、資材運搬計画作成にあたり、現地を確認し、さらなる補強が必要と判断される場合には、必要な措置について協議する。

なお、上記 ~ については、発注時における想定（概略数量）であり、天候等により、現場条件が異なる場合には、協議を行い設計変更の対象とする。

#### 4 その他

##### 技術管理費

技術管理費として、以下を計上している。

ア 張力測定工 1式(3回)

イ 張力解析工 1式

ウ 現場溶接検査費 177m

キャリブレーション工、張力測定工については、温度による計測誤差を排除するために夜間作業を想定している。

キャリブレーション工は、対称性を考慮し全体の1/4である6本を計上している。実際の実施本数については、受注者との協議により決定する。